

技 発 第 2 0 - 2 号
平成 2 9 年 9 月 2 5 日

一般社団法人 斜面防災対策技術協会

会長 奥山 和彦 様

一般財団法人 砂防・地すべり技術
理 事 長 南 哲



平成 2 9 年度「砂防地すべり技術研究成果報告会」の開催について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターに種々ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターでは、研究開発助成事業として平成 4 年度から 1 4 3 課題の助成を行ってまいりました。本年度も昨年度に引き続いて「平成 2 9 年度 砂防地すべり技術研究成果報告会」を開催し、研究成果の一部を発表していただく予定でございます。つきましては是非ご出席いただきたく、下記のとおりご案内する次第です。

以上貴関係職員へご周知頂き、誠にお手数ではございますが
1 1 月 1 0 日 (金) までに 別添の FAX 申込書 または 当センターホームページ (<http://www.stc.or.jp/>) 「申込フォーム」にてご返事いただきたく併せてお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成 2 9 年 1 1 月 1 4 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0
2. 場 所 砂防会館 別館シェーンバッハ・サポール「淀・信濃」
東京都千代田区平河町 2 - 7 - 4
電 話 (0 3) - 3 2 6 1 - 8 3 8 6

※問い合わせ先：一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
企画部 担当：仲野
東京都千代田区九段南 4 - 8 - 2 1 山脇ビル
電 話 (0 3) - 5 2 7 6 - 3 2 7 1
F A X (0 3) - 5 2 7 6 - 3 3 9 1
U R L : <http://www.stc.or.jp/>

平成 29 年度砂防地すべり技術研究成果報告会プログラム

開催日時：平成 29 年 11 月 14 日（火）13:30～17:00

場 所：砂防会館 別館シェーンバッハ・サボー（1階：淀・信濃）

13:30	開会挨拶	
13:35	来賓挨拶	
13:40	発表 1	天然ダム崩壊プロセスの違いが流出-ハイドログラフに与える影響に関する研究 里深 好文（立命館大学 理工学部都市システム工学科）
14:10	発表 2	土砂災害規模の定量的評価手法に基づく大規模災害の特徴と社会的影響に関する研究 小山内 信智（北海道大学農学研究院 国土保全学研究室）
14:40	発表 3	鋼製透過型砂防堰堤の縦材純間隔が流木混じり土石流の捕捉機能に及ぼす影響について 堀口 俊行（防衛大学校 建設環境工学科）
15:10	休憩（15分）	
15:25	発表 4	鉄砲水や土砂流出による災害発生予測精度向上にむけた出水時の山地河川の水理特性解明 浅野 友子（東京大学 農学部付属演習林）
15:55	発表 5	材料特性を考慮した土石流扇状地の形成過程に関する水路実験と評価手法の開発 堀田 紀文（筑波大学生命環境系）
	発表 6	不透過型堰堤に流木捕捉機能を付加する手法 嶋 丈示（（一財）砂防・地すべり技術センター砂防技術研究所 次長）
	発表 7	九州北部土砂災害（タイトル未定） 長井 義樹（（一財）砂防・地すべり技術センター 砂防部長）
16:55	閉会挨拶	
17:00	終了	

【事務局記入欄(返信用)】 お申し込みいただき誠にありがとうございました。

受付日 平成 29 年 月 日

お問い合わせ

ご登録を受け付けました。

事務局 03-5276-3271 企画部 仲野

平成 29 年 月 日()

(一財)砂防・地すべり技術センター
企画部 行

FAX: 03-5276-3391

「平成29年度 砂防地すべり技術研究成果報告会」参加申込用紙

「平成29年度 砂防地すべり技術研究成果報告会」への参加を申し込みます。

■所属機関

ふりがな	
名称	

■住所・連絡先

住所	〒	
代表連絡先	TEL :	FAX :

■参加希望者

1	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
2	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
3	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
4	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
5	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
6	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
7	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :

■どのようにしてこの報告会をお知りになりましたか(任意)

機関誌SABO 砂防学会誌 地すべり学会誌 当センターホームページ
当センターから配送している案内状 人からの紹介 砂防学会ML その他()